

# C S だより

ommunity school

文責：菊岡 文枝  
(CSディレクター)

冬の初めの時期となりました。保護者の皆様、地域の皆様には本校の教育活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。10月は5年生のミシン支援、3年生のマックスバリュ見学引率支援、自習見守り支援にボランティアの皆様のご協力をいただきました。また、図書室前の掲示板には、10月恒例のハロウィンの装飾をしていただきました。ありがとうございました。11月7日からは2年生の九九暗唱支援も始まりました。地域の方たちが参加してくださいました。

10月26日には第2回学校運営協議会が開催されましたので、今回のCSだよりは学校運営協議会の様子を中心にお伝えします。

## 第2回学校運営協議会開催

10月26日(木)に学校運営協議会を開催しました。今回は初めて、6年生と運営協議会委員の皆さんとの話し合いという形で行いました。未来を担う子供たちからの発信を大切にしたいとの思いでの開催でした。今後も継続したいので、5年生にも参加してもらいました。6年生には事前に「須津の良いところはどんなところか?」「須津をこんなまちにしたい。」「地域に住む一員として、今の自分たちができることはないかな?」という3点について考えてもらいました。当日は子供たちも協議会委員の皆さんも4グループに分かれてもらいました。1グループが6名くらいの人数になり、活発に話し合いができました。

子供たちから「須津の良いところ」として、優しい人が多い、岳鉄がある、スーパーがある、空気がきれいなどの意見がありました。また「須津にほしいもの」として観光施設など人が集まる場所がほしい、バッグや服・駄菓子屋さんなどのお店がほしい、イベントが多いほうがいいのかなどの意見がありました。また自分たちがボランティアとしてゴミ拾いなどをやりたいとの声もありました。ボランティアの皆さんがたくさん来てくれてうれ



しいが感謝を伝える方法がわからないという声もありました。CSDとしては大変うれしい声でした。

子供たちとの話し合い後の議論では、協議会委員の皆さんから「子供たちが地域のことをいろいろ考えていることがわかりうれしかった。」「子供たちは須津という地域が大好きなのだと感じた。」半面「挨拶しても返してくれない大人がいる。」との子供の声があり、「大人は子供の鏡だと自覚し、ちゃんとすべきだと思った。」また「地域の自然や古墳などの特色が伝わっていないと実感した。」との意見もありました。委員の皆さんの中には、まちづくり協議会の中端会長や鈴木昇司副会長もいるので、イベントを開催するときの情報発信の仕方などに工夫が必要だと感じたようです。

5年生は事前に話し合いの内容を知る機会がなかったにも関わらず、6年生の意見を聞きながら、それを受けて自分の意見を言うことができ、その姿がうれしかったし頼もしかったとの声がありました。

## 10・11月の活動記

10月から11月にかけて「5年生ミシン支援ボランティア」「2年生九九暗唱支援ボランティア」などを保護者や地域の皆さんにお願いしました。また図書室前の装飾は、とても楽しいものになりました。子供たちの日々の活動が豊かになっています。ありがとうございます。

